

令和7年第2回吉備中央町議会定例会一般質問通告まとめ

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
1	3	我妻 瑛子 (一問一答)	ふるさと納税について	<p>①返礼品調達費が上限を超えていたとの指摘について経緯と説明を求める。</p> <p>また、「令和7年度については県からの助言を受けて、支援金をとりやめた（山陽5月17日記事）」とあるが、そもそも、ふるさと納税の運用にあたっては、県を窓口としてきたのか。米代とは別に支援金を払うという方法について、国とのすり合わせはおこなっていないのか。</p> <p>②令和6年度分の未発送返礼品対応状況を聞く。</p> <p>人数、口数、寄付返還と8kg対応の数、それぞれについて現在の大きな数字は。</p> <p>③令和6年度分の返礼品不足の理由と、予定している対策は。</p> <p>④町のふるさと納税を利用した農家への様々な支援は、農家を励ましてきた。米不足、米価高騰のなかで国は備蓄米を放出したものの、今後どのように安定的な生産をおこなうのか、根本的な解決に触れていない。米価の見通しは不透明であり、肥料・資材・燃料価格の高騰もあり、米農家の苦境は変わらない。これまでのような、支援が必要ではないか。</p>	町長
			若年者の住まいの確保について	<p>町で生まれ育った方たちが独立する際、住宅確保ができない状況。できれば地元に住み続けたいという思いがあるにも関わらず、町外へ転出していくケースが多々あるというのは、これまでの議会でのやりとりでも認識されていることがわかる。平成30年におこなったPFI方式で建設された町有住宅は基本的に埋まっている状況。公営住宅もあるが、入居要件にあてはまらないファミリー層や単身者がいる。若年層は賃貸物件を必要としている。</p> <p>第2次総合計画において、基本目標3では「若者の転出抑制のため、町営住宅の計画的な整備や、町外から勤める人を対象とした幅広い家族構成に対応できる低料金で入居できる住宅の整備が必要である」とある。</p> <p>令和3年度から5年間の第2次総合計画、最終年度である今年度、この目標に対してどのような段階にあるのか聞く。</p>	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(1)	(3)	我妻 瑛子 (一問一答)	1) 公営住宅について	①総合計画内にある「町営住宅の計画的な整備」とは何をさしているのか。その到達はどうか。 ②公営住宅は公営住宅法に基づいて入居基準・資格が定められているが、2007年に施工された地域再生法により、自治体が地域再生計画を作成し、内閣府の認定を受けることで国庫補助金で整備された施設の転用が可能になった。柔軟化した目的外使用の取り組みは全国各地でおこなわれており、「公営住宅等の弾力的な活用に関する事例集」では14事例が紹介されている。 本来の対象者の入居を阻害しない範囲での利用も検討してもよいのではないか。あわせて近年の公営住宅利用状況をどのように捉えているか。	
			2) 民間住宅の建設について	第2次総合計画 基本目標3では「民間住宅の建設誘導を推進する」とある。その進捗状況は。	
			3) 町による空き家改修について	今年度、吉備高原で買い上げた空き家を改修したお試住宅が1棟計画されている。 令和4年6月の河上議員の榑原(ゆすはら)町の取組の紹介があり、定住促進課長は「参考にしながら検討したい」「国や県の補助など研究したい」と答弁された。研究や検討の状況と内容は。	
			PFAS 汚染対応について		町長
			健康影響対策のロードマップ作成について	甲状腺や腎エコー検査、次回 PFAS 血中濃度検査の実施時期などの要望に対していつ結論が出るのかわからない。健康影響対策についての見通しが悪いと、ただただ、先延ばしになって、立ち消えていくのではないかという不安を感じる。 何が検討課題で、何をもち、いつ判断しようとしているのか。データ解析とその公表、住民説明会の実施タイミング、などの道筋は課内で立てると思うが、目標や予定としてでも良いので住民に共有して欲しいがいかか。	

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(1)	(3)	我妻 瑛子 (一問一答)	国の除染実証事業について	国の実証事業の内容が見えないが、河平ダムの水質濃度でその成果をはかると考えてよいか。	

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
2	7	平澤 一浩 (一問一答)	広報活動について 吉備中央町自治会代表者会議について	<p>①この会はいつから、どのような目的で行っていたものか。この数年は何名くらいの方々が参加していたか。</p> <p>②今年度、4月に予定していたものが、中止となったが、その理由について、どのような声、アンケートなどの実態把握の元、判断をされたのか。</p> <p>③この会議をよりよくしていくために、始まった時より、改善されてきたか。</p> <p>④今回は中止となったが、その代わりにどのような広報を展開していく予定か。もしくは吉備中央町自治会代表者会議を再度行う考えはあるか。</p>	町長
			町民サービス向上について 天満屋との提携協定について	<p>①令和7年4月30日に「天満屋グループと地域社会の活性化と町民サービスの向上を目的とした包括連携協定を締結しました。」と発表されたが、今後のどのように展開され、町がどのように発展していくと期待されているのか。</p> <p>②具体的に天満屋グループとの協業体制について、どの課とチームを形成し、展開していくのか。</p>	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
3	8	山崎 誠 (一問一答)	<p>円城地区の PFAS 汚染土壌対策について</p> <p>1) 公共用水域汚染の現状について</p> <p>2) 環境省の PFAS 対策技術実証事業について</p> <p>3) 円城財産区との関係について</p>	<p>2023 年 10 月に発覚した円城地区の PFAS 汚染水は、1 年 8 ヶ月経過した今も依然高い濃度で流下し、下流の公共用水を汚染し続けている。発生源は PFAS 含有活性炭が置かれた場所の土壌汚染であり、置き場土壌の除去など汚染対策が急務である。先般、環境省が汚染濃度低減の技術実証を行うとして 8 億 8600 万円の予算を措置し、円城地区も対象となった。汚染の現状と対策を尋ねる。</p> <p>県は 2023 年 10 月以降、2 ヶ月ごとに継続モニタリング調査を行い公表している。この調査によれば、例えば河平ダムでは昨年 12 月 1600ng/L、2 月 1400、5 月 750、西側沢 B2 では 4300、3100、4500 で推移している。県の調査以外に調査している箇所はあるか。下流の宇甘溪では目標値の 50ng/L 以下であるが、本流の旭川ではどの程度の汚染が確認され、岡山市から汚染に関する要請はあるか。</p> <p>4 月 21 日環境省は汚染濃度低減の技術実証を始めるとして、吉備中央町(円城地区)のほか、京都、熊本を選定した。事業の概要を尋ねる。</p> <p>①国の全体予算は 8 億 8600 万円とされているが、吉備中央町の予算はどの程度か。</p> <p>②汚染実態把握のボーリング調査はどの程度行うのか。</p> <p>③汚染土壌の除去、濃度低減化はどのような技術手法を用いるのか。</p> <p>④いつまでに行うのか。期限や工程は示されているか。</p> <p>⑤実施事業者は決まっているか。どのように選定されるのか。</p> <p>⑥この実証事業で町が要望していることはあるか。</p> <p>PFAS 含有活性炭が置かれたのは円城財産区の土地であり、貸借契約の終了時は原状に復することになっている。</p> <p>①貸借契約はいつ締結され、いつ終了したか。借りた側の契約者は誰か。</p> <p>②原状回復の義務は果たされるのか。</p> <p>③原状回復に環境省の実証事業と関連する点はあるか。</p>	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(3)	(8)	山崎 誠 (一問一答)	4)PFAS 含有活性炭、排出元の責任について	<p>④これまで町が行った汚染対策費、環境省の実証事業費など借主に賠償請求は行うのか。賠償請求の範囲や算定基準はあるか。</p> <p>円城財産区の土地に置かれた PFAS 含有活性炭の排出元企業は、PFAS の組成分析からほぼ確定的な見解が示され、さまざまな報道がなされている。</p> <p>①排出元企業は判明しているか。</p> <p>②排出元企業の賠償責任はどのように考えているか。</p>	
			<p>デジタル田園健康特区事業の高齢者見守りと、困りごと相談について</p> <p>1)高齢者見守りについて</p>	<p>前の3月議会で、J社への委託金額と成果を質問したが抽象的な答弁が多く具体的な数字はあまり示されなかった。成果の詳細な分析は委員会などに譲るとして、事業の基本的な態勢を尋ねる。</p> <p>委託金は令和4、5、6年度で1134万円、7年度440万円の計1574万円。加えてこの事業にどの程度関連しているのか分からないが、事業主体のインクルーシブスクエア運営に7年度2700万円余が投入されている。</p> <p>①きびアプリの健康チェック機能を活用して家族による見守りを支援しているとのことだが、健康チェックのアクセス数。家族による見守り支援はどのような形で行っているのか。</p> <p>②独り暮らしの高齢者戸別訪問は各年度何件か。何人のスタッフが配置されているのか。</p> <p>③民間事業者として可能な範囲で見守りを行っているとのことだが、委託事業として公費を投入している。見守りチェックマニュアルはあるのか。スタッフは専門的知見を有しているのか。</p> <p>④見守りで、行政支援の必要なものは役場・包括支援センターと連携しているとのことだが、各年度何件の申告があり、どのような相談が寄せられ対応しているか。</p>	

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(3)	(8)	山崎 誠 (一問一答)	2) 困りごと相談 について	<p>委託金は令和 5、6 年度で 3850 万円、7 年度 550 万円の計 4400 万円。前項の高齢者見守りと同じくこの事業にどの程度関連しているのか分からないが、事業主体のインクルーシブスクエア運営に 7 年度 2700 万円余が投入されている。</p> <p>① 困りごと相談は、草刈り、植物の水やり、ゴミ出し、大工仕事など多様で、令和 6 年度 10 ヶ月で約 1800 件あり、対価として 1280 万余円を得ている。対価の発生する仕事と対価の発生しない仕事があるのか。その区分はどうなっているのか。</p> <p>② 委託事業で対価を得る場合と無償の場合があるとすれば、どのような契約がなされているのか。</p> <p>③ 委託仕様書では四半期ごとに実績提出を求めているとのことだが、各年度の収支は報告されているのか。</p>	
			有害鳥獣の捕獲 対策について	<p>現在町では有害鳥獣に猪、サル、鹿など 8 種が指定されており、令和 6 年度 2 月末時点の 11 ヶ月で猪は 1100 頭捕獲されている。以下 2 点尋ねる。</p> <p>① 先般の猟友会賀陽分会総会で、猪捕獲後の処理に大変困っているとの意見が出された。支援策は検討しているか。</p> <p>② 特区事業で導入したドローンを活用してほしいとの意見も寄せられた。ドローン搭載の赤外線カメラによる発見や捕獲の現状はどうなっているか。また音響、音波による駆除の見通しはどうか。</p>	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
4	1	日名 由香 (一問一答)	放課後児童クラブについて 放課後児童クラブの利用状況と課題について 一時利用制度の運用について 長期休業期間中の受け入れ体制について 町内交通インフラを活用した通所支援の可能性	4月から新たに公設公営型となった放課後児童クラブについて伺う。 ①令和7年4月から公設公営型として新たにスタートした放課後児童クラブの、現時点での利用登録者数・利用実態は。 ②運営開始以降に見えてきた課題や保護者から寄せられた声に対し、どのような対応や改善が行われてきたのか。 一時利用制度の概要、現在の運用状況について伺う。 ①一時利用制度の概要(対象者、利用日数上限、申請方法、登録時期、利用可能時間など)は。 ②現在の登録者数および月別利用実績は。 ③利用者や現場職員から寄せられている主な意見や困りごとがあるか。 ④利便性向上に向けた改善を行う予定はあるか。 夏休み・冬休みなど学校が長期休業となる期間は、保護者の就労との両立が一層難しくなる時期であり、子どもたちの安全な居場所としての放課後児童クラブの役割が非常に大きくなる。 長期休業期間中の放課後児童クラブの運営体制がどのように整備されているかについて伺う。 ①長期休業期間における放課後児童クラブの開所日数・時間帯など基本的な運営体制は。 ②長期休業期間のみ利用する児童はどのくらいいるのか。通常時と比べての増減は。 また、長期休業期間における職員配置や補助体制の強化、外部人材・ボランティア活用の有無など、運営上の対応策があるか。 ③長時間利用に伴う活動プログラムの工夫(例:工作・体験・学習・戸外活動など)は検討しているか。	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(4)	(1)	日名 由香 (一問一答)	について	<p>帯にとって、日々の送迎は大きな負担であり、就労継続や子育て環境の整備という観点からも重要な課題と捉えている。</p> <p>現在、町内では「へそ8バス」や「デマンド交通」などの公共交通が運行されており、高齢者の通院・買い物支援などに活用されているが、これらの仕組みを小中学校や放課後児童クラブへの通所支援にも応用することで、子育て世帯への支援の幅が広がるのではないかと考える。</p> <p>町としての現状の認識と、今後の取り組み方針について伺う。</p> <p>①統廃合により今までより遠くなった小学校や放課後児童クラブへの送迎に関する保護者の負担や交通課題について、町としてどのように感じているか。また、何か検討していることがあるか。</p> <p>②児童の平常時の下校、ならびに長期休業中の登下校において、「へそ8バス」や「デマンド交通」を活用した通所支援を検討してはどうか。</p> <p>③まずは、夏季休業期間中などにモデル地区を定め、試行的に運用・実証し、児童の利用状況や保護者の反応を把握してはどうか。</p>	

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
5	5	丸山 節夫 (一 括)	農業政策の取り 組みについて ふるさと納税（ 米作り農家応援 事業）について	米作り経営が最も厳しい中、町では平成 26 年度からふるさと納税（頑張る農家応援事業）に取り組み、町内の米作り農家支援策としての目的と役割を十分に果たしてきた。新年度に入り、返礼品の調達費計画に問題ありとの報道があり、町内では多くの不安や心配の念が一気に高まった。そうした中で、町執行部、主に担当課職員は、寄附者は元より国への対応に最大限努力されたと推察する。この状況を踏まえ、次の 2 点について問う。 ①これまでの事業計画の推進では、事務作業は適正に実施されていると承知しているが、今回の報道に対しては、町民に早期に分かりやすく、町の意味が十分に伝わる行政説明等を強く望むところである。寄附者に対しては、既にお詫びと案内文を送付されており、書中、今後の対応のひとつに、関係者との連携強化・情報連絡の蜜、農家説明会開催を含めた周知徹底を示されている。このことも踏まえ、町民、米作り農家に対しては、具体的にはどのような内容で進めるのか。 ②仮にも、ふるさと納税制度で不指定処分となった場合、頑張る農家応援事業を始めふるさと納税基金を活用した補助金制度の今後の事業運用はどう進めるのか。	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
6	10	片岡 昭彦 (一 括)	吉備中央町の公共交通について	<p>①町内を運行している町営交通（岡山医療センター便、へそ8バス、デマンドタクシー、ふれあいタクシー）について、将来の公共交通の課題を、民間バス事業とともに、公共交通をどのような形で取り組んでいくのか。</p> <p>②町有バスの運転手、あるいは民間事業者において、運転手の確保は雇用の面において、大変苦慮している現状である。こうした状況を解決するため、人材確保における二種免許取得補助による支援ができないか。</p>	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
7	2	渡邊 順子 (一問一答)	新小学校の現状について	<p>新しく開校した3小学校も、新年度が始まり2か月経過した。そこで現状を尋ねる。</p> <p>①新しい環境での学校生活で、児童の様子と合わせて、各小学校に新しくほっとルームが設置されたようだが、この部屋の活用についても尋ねる。</p> <p>②多くの児童がバス通学となった。バス通学について、児童の様子やバス路線の状況について尋ねる。下校ともなると、バス下校のほかに、徒歩、お迎え、習い事、待ち下校など様々である。現在下校については、スムーズに対応できているとは思いますが、待ち下校では、どのように過ごしているのか尋ねる。またアフタースクールが開始されると、参加不参加で、待ち下校も変わってくると思うが、どのように把握していくのか。児童管理システムが導入予定とされていたが、このシステムについての現状と運用の仕方について尋ねる。</p> <p>③アフタースクール開始に向けて、保護者には詳細が配られ、児童の参加申し込みも終わったようだが、申し込み状況はどうか。そして、今一度議会においてもアフタースクールの取り組みについて、意義と今後の流れやカリキュラムについてなど、できる範囲で説明していただきたい。あわせてアフタースクールと学校、放課後児童クラブとの連携についても改めて尋ねる。</p> <p>④最後に、町長・教育長のアフタースクールにかける熱い思いを語っていただきたい。</p>	教育長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
8	6	河上真智子 (一問一答)	スクールバスの運行について	統合により、町内各所からスクールバスが通学の足として運行されている。この先も継続的かつ安定的に児童生徒の安全な登下校を担保するためにも今後を見据えた対応が必要である。	町長
			1) 開校時点での運行について	4月の開校時点で、全てのルートでの委託契約が完了していなかったため、応急対策として任用職員を振り向け急場をしのいでいた。この原因は何だったのか。	
			2) 入札額について	諸物価や賃金は年々上昇しているのに、スクールバスの入札額は逆に下がっている。これはどういう理由なのか。	
			3) 設計価格と最低制限価格について	スクールバスの経費は、運転手の人件費と運行管理費である。安全運行にはどちらも必要な経費であるが適正な額が示されているか。	
			4) 今後の運転手の確保について	現在の運転手の方々の年齢構成をみると高齢化が顕著である。今後を担う運転手の確保は急務である。	
			5) 入札による運行は実情に合っているのかについて	小中学校4校に対して運行事業者は2社である。敢えて入札形式でなくても2校ずつ分担ではいけないのか。また、それによって町負担分の経費も節減できるのではないか。	
			6) 学校行事での貸し切りバスについて	発着点を「吉備プラザ」として競争入札が行われている。2社の事業所からの距離をみれば明らかに不平等である。発着点はスクールバスと同じ「賀陽庁舎」にすべきである。或いは、競争入札でなく、2社に順番に振り分けて委託すればいいのではないか。	
			7) 車両の管理について	スクールバスは教育委員会の管理となっているが、公用車同様の総務課での管理にならないのはなぜか。	
			デジタル田園都市構想事業について	過疎の問題を解決するべくデジタル田園都市構想が進められている。今年度の医療分野の事業と、基本となるインターネット環境の整備に関する対応を問う。	町長

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(8)	(6)	河上真智子 (一問一答)	1)「共通診察券」の今後の展開について 2)「共通診察券」の理解を進める取り組みについて 3)通信環境の整備について 4)高齢者の負担軽減について 5)吉備ネット加入料金について 6)共用の場へのネット環境整備について	今までスマートフォンを持たない年少者や高齢者は「共通診察券」を利用できなかった。今後、全ての方が利用できるようにするための取り組みが始まるがどのようなものか。 「吉備アプリ」は登録者が2500人を超え、次第に利用者が増えている。しかしまだすべての方が理解しているとは言い難い。推進のための今後の取り組みについてはどうか。 町内にスマートフォン電波の不感地帯があり「吉備アプリ」の推進の障害の一因になっている。町は通信環境整備のための光ファイバー網を整備したが、吉備ネットを利用したインターネットの加入率は58%程度である。加入者が増えない要因をどう考えているか。 65歳以上の単身家庭に月額利用料の半額を助成する制度ができたが、この条件をもう少し緩和し希望者に広げることとはできないのか。 新規加入料は金額的に負担が大きく加入を躊躇する世帯もある。負担軽減策はないか。 地域の公会堂や集会所に災害時対策を兼ねてWi-Fiを整備することはできないか。	

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
9	11	黒田 員米 (一問一答)	ふるさと納税について	現在ふるさと納税について国からの指摘があるが、我が町のふるさと納税の取組みは、個人としては他自治体においても取り組むべき良い取組みだととらえていることを前提に質問をする。	町長
			1) コメの価格上昇とその要因について	①町が返礼品として採用しているコメの単価が昨年から今日まで一気に急騰したが、町としてはその主な要因をどう分析しているか。 ②国の農政（例：生産調整廃止、資材費高騰対策の不足等）が今回のコメの価格変動に与えた影響を、典型的な中山間地域の町としてどのように捉えているか。	
			2) 総務省の調査と今後の対応について	①総務省からの聞き取りに対して、町はどのような説明を行い、今後どのような対応を考えているのか。 ②考えたくはないが、仮にふるさと納税の指定取消となった場合、町財政や農家支援に与える影響はどう見積もっているか。またその対策は。	
			3) 制度改善に向けた国への提言の意思について	現場の実情をふまえ、総務省や農水省に対し、地方が持続可能な形で地域住民に対して効果あるふるさと納税制度として運用できるような制度改善の提言を他の自治体とともに進める考えはあるか。	
			PFAS について		町長
			1) 子どもへの対応について	先日の住民説明会において、町長は子どもに対する調査は継続的に行っていきたいとの回答であったが、現時点においてどのような内容を考えているのか。	
			2) 住民を含めた協議会について	近日中に設置見込みの地域住民の参加を含めた有機フッ素化合物に関する対策委員会を設置予定と聞くが、その会の設置目的、人数、所属、開催日数等を再度説明されたい。	
			3) 国によるボーリング調査について	原因物質を置いていた現地において、国によるボーリング調査を行っているが、これまでの動きと今後の動きについて話せる部分で状況を説明されたい。	

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(9)	(10)	黒田 員米 (一問一答)	4) 自治体間での連携について	岡山市でも河川からのPFAS検出が報告されており、自治体間の情報共有や連携体制の必要性が高まっていると考えられるが、各自治体どうしが連携した上で、県並びに国に対して、処理体制や統一的な方針の確立、検査方法の統一化などを働きかける考えはあるか。	
			5) 国へ早期な産業廃棄物指定の要望について	PFAS吸着後の活性炭を適正に処理するには、マニフェストの設定などによる適正な搬出及び保管。また、高度な焼却施設や専門処理業者が必要であり、現行制度の枠内では自治体間に処理の格差が生じる恐れがある。町として、こうした廃棄物を早急に「産業廃棄物」に指定するよう国に対して要望を行う意向はあるか。	
			6) 国への人的・財政的支援について	本町のような弱小自治体では、人的・財政的にも限界がある中での対応が求められる。町単独では困難なPFAS対策について、岡山県や近隣町村との共同処理や要望活動を含め、今後どのような体制で対応を図っていく考えなのか尋ねる。	
			7) 原因企業の動向について	原因企業に対して損害賠償請求をおこなっているが、その後、町、財産区、原因企業それぞれの動向はどのようになっているのか。	
			8) 関係住民への情報提供について	関係住民への情報提供が滞っているのではないか。健康検査の状況、広域水道企業団からの配水管敷設状況など積極的に広報すべきではないか。	
			小学校跡地利用について		町長
			1) 小学校跡地利用の現状について	旧小学校の跡地利用について各地域においてそれぞれ活用方法の検討を始められていると聞くがその現状は。	
			2) 伴走支援、財政的支援について	①旧小学校利活用の協議が進まない地域においては、今後町としてどのような対応を考えるのか。	

順位	議席	質問者氏名	質問事項	質問内容	答弁者
(9)	(10)	黒田 員米 (一問一答)		<p>②今後、それぞれの地域が旧小学校跡地について新たな利活用を計画する中で、町としては伴走支援として地域住民にとっていかにメリットが生まれるかを考えながら情報共有を図りアイデアを実現する事が必要と思われるが町の考えは。</p> <p>③それぞれの利活用計画において、最も重要なのがスタートアップ費用と考える。よって補助年数を定めた中で財政的支援を積極的に行い地域住民にとって望ましい利活用を積極的に支援すべきではないか。</p>	町長
			公共交通について		町長
			1) デマンドタクシーのアプリ予約について	現在のアプリ予約は毎回全ての情報を入力する必要がある。前回入力した情報が残るようにすることで利用者の利便性が高まり、ひいては利用者数の増加につながると思われるが、アプリ改修に取り組むべきではないか。	
			2) 定期券・回数券について	へそ8バス、デマンドタクシー等への定期券・回数券を導入することで利用者数の増加を目指すべきではないか。	